



あに

編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課

印刷所 秋田県阿仁町水無安東印刷所

140号

'74 4月

頒価 10円



「ハイ、ハイ」みんな元気、春の陽いつぱいの教室で。(阿仁合小学校1年B組)

もう馴れたよ

元気にやつてます 一年生

ハイ、ハイとかわいい手がある、窓ぎわの一番前の席は小林かずのりくん和小武海くに子ちゃん、元気にみんなにまげずと声をはりあげる明るい陽ざしのもとに、ういういしさがたゞよう新入生の教室の一コマ。

早いもので、雪の入学式からもう一月近くたちました。新しい生活にもそろそろ馴れたもようでした。新しい生活にもそろそろ馴れたもようでした。たくさんのお友達もできたようす。「先生、よしゆきくんは焼そばを五はいいもおかわりしました」と楽しい給食でそんな声も聞かれるほど、もうみんなはりつばな一年生。

なかには、勉強中に立つて歩いたり、寒いよといつてはストーブにあたるなど、先生の手をよかせるという現代つ子らしい一面もちよびりのぞかせていました。

ことしの新入生は全町で昨年より一人少ない一〇九名、未来をになう貴重な人材がすこやかに育つことはみんなの願い。きげんな遊びをしないよう、交通事故にあわぬようにと、みんなで見守つてやりたいものです。

町の人口

7,419人

(102人減)

男 3,545

女 3,874

世帯 1,806

(3世帯減)

転入 32人

転出 136人

出生 6人

死亡 4人

49年3月31日現在住民
基本台帳人口による

死亡ゼロ二千日を達成

交通事故

いのちを守る記録を 延ばそう 目標は三千日

昭和四十九年四月二日、この日は阿仁町にとつて、記念すべき素晴らしい日となりました。

記録が達成されたからです。ひと口に二千日といふまでも、一年間に一万五千人、日に四〇人近い交通事故死者が出ていた全国の実態からしても、いかにこの記録がすばらしいものであるかがわかります。

もちろん、県内でもたゞ一つの記録でありませんが、そのかげには、たとえ、交通量が少ないという事情もありましようが、地域住民のたゆまない努力が実つたものといえます。



事故死のあつたのは、昭和四十三年十月十日、比立内からみ内林道で、十九歳の少年が小型トラックから墜落死したのを最後に、今日まで無事故記録が更新さ

れつづけてきたわけですが、たゞ、その間あやうく人命に及ぶという事故は何度かありました。

とを誓い、さしあたつての目標を三千日達成をめざすことにしました。

根子トンネルが貫通

開通まであと一息

三月二十一日、午前十一時一分、ドドンという発破の音とともに、根子農道トンネルが待望の貫通をみました。

部落から国道に至る最短距離の道路(基幹農道)として、昭和四十七年から、延長千五百二十四米の道路



教育長に湊荒男氏

三月定例町議会で、前教育長の湊荒男氏が教育委員に選任されたのに伴ない、四月二日、定例教育委員会を開き、教育長に湊荒男氏の再任を決定しました。

教員異動

- ▼転出
 - 転出校 氏名 前任校
 - 合川東小 平岡二郎 阿小
 - 指導主事 戸松悦政
 - 伏影小 戸島富雄 三枚小
 - 阿小 佐藤 正 大阿仁小
 - 鷹巣小 渡慶太郎
 - 一中 白沢美保子
 - 上小阿中北林孝市 荒瀬小
 - 合川南小田島和男 中村小
 - 大阿仁小高瀬典子
 - 合川北小北村久雄 伏影小

転入校

- ▼転入
 - 八木橋小斎藤一雄 根子小
 - 森吉中 佐々木茂 一中
 - 第二中 伊東イソ
 - 大館一中佐藤喜美男
 - 秋田養護藤山光弘
 - 有渚小 長崎重子 第二中
 - 退職 佐々木良子
 - ▼転入
 - 氏名 前任校
 - 阿小 工藤健二 鷹巣小
 - 三枚小 若松清幸 任用
 - 大阿仁小島山勇 鷹巣南中
 - 大川洋一 任用
 - 荒瀬小 山田一夫 成章中
 - 伏影小 佐々木久隆 新卒
 - 中村小 今立淑子 浜口小
 - 根子小 北館隆雄 馬内小
 - 伏影小 神成正一 山田小
 - 一中 松岡善則 森吉中
 - 菊地 論 早口小
 - 千丸富也 新卒
 - 武石明美 天王中
 - 奈良則子 新卒

氏名

- ▼転入
 - 氏名 前任校
 - 阿小 工藤健二 鷹巣小
 - 三枚小 若松清幸 任用
 - 大阿仁小島山勇 鷹巣南中
 - 大川洋一 任用
 - 荒瀬小 山田一夫 成章中
 - 伏影小 佐々木久隆 新卒
 - 中村小 今立淑子 浜口小
 - 根子小 北館隆雄 馬内小
 - 伏影小 神成正一 山田小
 - 一中 松岡善則 森吉中
 - 菊地 論 早口小
 - 千丸富也 新卒
 - 武石明美 天王中
 - 奈良則子 新卒

声 おたずね します

私は阿仁合中学校に愛着をもつ同窓生の一入です。

このたび、校名が「一中」に変更されると聞き、若干おたずねします。

校名変更の理由が、①学校が新しくなつた。②二中があつて一中がないのがおかしい、という理由のようですが、同窓生の私にとつてはちよつと納得しかねています。また、伝統ある校

阿仁合中の校名変更

お答えします

去る三月二十三日の町議会において「阿仁町立学校条例の一部改正」の議決によつて阿仁合中学校を「阿仁町立第一中学校」と改称

名が、生徒および学校当局PTA、同窓会にも相談もなく一方的に決められたことに疑問を感じています。議会においても、十一対八で採決されたと聞き、こ

変更は、本来、全員の一致でスムーズに決められるのが本筋ではないでしょうか。伝統ある母校阿中に愛着をもつ一人として、当局のご答弁をお聞かせください。(下新町一同窓生)

して四月一日から新発足することになりました。

昭和三十七年七月に大阿仁中学校と中村中学校が統合されて「阿仁町立第二中学校」が誕生してから十年余りになりますが、その当

れつづけてきたわけですが、たゞ、その間あやうく人命に及ぶという事故は何度かありました。

とを誓い、さしあたつての目標を三千日達成をめざすことにしました。

開設工事が進められていたが、うち難所といわれる五百七十六米のトンネル工事が貫通したものです。

公民館結婚第一号

鈴木さん(大町)と高橋さん



四月五日、新方式による公民館結婚第一号が誕生しました。よろこびのカンブルは、水無大町の鈴木菜一さん(呉服店)と、合川町の高橋久子さんのお二人です。

ご承知のとおり公民館では、公民館結婚の主

「今日はテーブル方式で。祝福をうける若い二人」

旨を生かして、四月から会費制による結婚を呼びかけたところだ。

この方式は、披露宴を主としており、式は当人側の自由としています。この日は、式もすべて公民館スタイルで行なわれ、二人の「誓いのことば」「婚姻届の署名捺印」など音楽効果もとり入れ、新方式ながら厳しゆくに行なわれました。受付で二干円の会費をおさめた列席者は、とまどいながらも披露宴に入つてから、テーブルいっばいに並んだ料理や生花、飾りつけでムード満点の会場にますますはびつくり。列席者には記念品はないが、新郎新婦には列席者全員で、この日は「電機掃除機」を実行委員代表から贈られました。

豪華な料理とたつぷりの

春は火災を忘るな



飲み物に、あちこちのテーブルから余興やお祝いの言葉が次々とび出、列席者全員で二人の門出を心から祝福している光景に、両親も涙ぐんでいました。

四月から五月にかけて、阿仁町公民館と大阿仁分館で、それぞれ数組の結婚が予定されており、公民館では、さらけにみなさんのご賛同を呼びかけています。

里の雪もすつかり消え、いよいよ春の到来です。

冬からの解

放、それに農繁期に山仕事加えてレジャーやらで、何かにせわしい時節でもありません。

さて、毎年この時期になると、きまつて起こるのが火災です。

雪の別れ二題



役目を果たして定時制が閉校

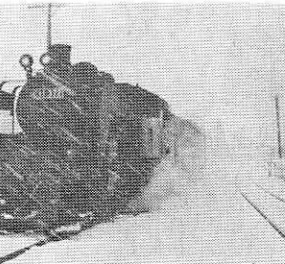
勤労青年の学舎として、地域の教育の振興に大きな役割を果たして来た米内沢高校定時制阿仁分校が、三月三十日をもって閉校しました。

戦後間もない昭和二十三年に発足以来、百八十七名の勤労青年を送り出して来ました。昭和四十八年度の五名の卒業生を最後に、在校生がゼロとなり、二十五年の幕を閉じたわけですから、三月三十日の閉校式で、第一期卒業生の吉田忠昭さん(大阿仁木材勤務)は「同校の入学者は五百五十名でしたが、卒業したのは百八十七名という、きびしい道でした。それなりに果たした役割は、はかり知れないものがあったと思

います」と、卒業生を代表して語っていました。

分校は、今後、地域の施設として役立てられる予定です。『辛屋渡』

本県最後のSL 阿仁合線を去る



秋田県内で、たゞ一つ残っていた阿仁合線の蒸気機関車(SL)が、三月二十六日を最後に、とうとう姿を消してしまいました。

昭和十一年九月二十五日に、二百一十一号列車が山峽の鉱山町に鉄道開通の夢を運んで以来、三十七年六ヶ月の永い煙の歴史に幕がおりされたわけですが、

笛というの子ども時代からのイメージでしたが、古き良き遺産が、また一つ失なわれたようなさびしさがしてなりません。

秋田県は、毎年この時期に火災発生件数を見ても、四、五月に全体の三二%にあたる二百十二件が発生しています。そういえば、四十二年の上新町火災もちょうど五月の十三日でした。

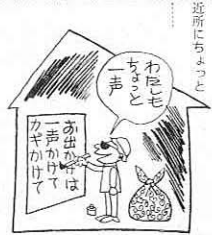
そうした中で四月十六日から二十二日まで、春の火災予防運動が展開されましたが、町の消防団では、この期間徹底した家庭予防検査を行なう。同時に、今後の火災予防策として、次の点について町民の協力を呼びかけています。

○火災は人災であり、警火心の高揚をはかる。

○そのために、常に家庭に

明るい社会をめざし 春の防犯運動

- 盗難の防止
 - 暴力、迷惑行為の防止
 - 少年の非行防止
- 4月21日～5月10日



- 空栗シーズン 近所にもっとも 出かけるときは
- わはせ ちんぷん 一声
- お出掛けは カギかけて
- 官公署異動
- ▽阿仁合駅長へ 藤井 茂雄(大館駅)
 - ▽比立内駅長へ 佐藤美穂清(あしが沢)
 - ▽秋田銀行阿仁支店長へ 三浦 孝(秋銀本店)

49年度収集ゴミ日程

- 月曜日 畑町、東裏、中村、担当。
- 火曜日 上新町、御蔵、社宅、三兩根子、萱草。
- 水曜日 下新町、幸屋渡、鳥坂、笑内、伏影。
- 木曜日 真木、横町、大町、比立内第一、新中、幸屋。
- 金曜日 湯口内、長野町、三軒町、上岱、下浜、戸島内、長畑牛滝、比立内第二。
- 土曜日 上小様、下小様、荒瀬川、荒瀬、小沢、吉田、小淵。

- ▶燃えないごみは、月曜を起点とする、その月の第3週です。お間違いないようお願いいたします。
- ▶5月の燃えないごみの日程は、5月20日から25日までの一週間となります。
- ▶運行時間は午前8時30分からです下記ご協力ください。
- 放し飼いの犬によるゴミ袋の喰いちぎりがひどいので、放し飼いをしないようにご協力願います。
- 午後3時以降は焼却場にゴミを運びこまないようにしてください。
- 埋立地に、動物(犬、豚、猫)などの死骸は捨てないようにご協力ください。

ことしの春の農作業協定賃金が決まりました。新賃金は昨年度の協定賃金と、その後の経済変動を考慮し、町の農業委員会で決めたものです。春の農作業にはこの協定賃金を参考にしてすゝめるようにしましょう。

昭和49年春期農作業協定標準労賃表

水田作業				畑作			
作業名		基準額	備考	作業名	基準額	備考	
耕起	耕運機	2,500円	10a当り	耕起整地	駆動型	1,800円	10a当り
	トラクター	1,800円	〃		テラー	1,500円	〃
代かき	耕運機	1,600円	〃		トラクター	1,300円	〃
	トラクター	1,300円	〃	普通畑作	1,400円	除草 播種	
田植	1,500円						
除草	1,500円			※ いずれもまかないなし			
薬剤散布	背負式	2,500円	1ha当り				

- ◎ 1日は休憩時間を除く8時間労働を原則とする。
- ◎ 賃金でない賄支給の仕方は必ず全廃のこと。
- ◎ 共同炊事の実施を励行し、家事労働の節減を図り、田植労働力に充足すること。

田植一、四〇〇円

春の農作業協定賃金が決まりました

善意

新入生全員に、はみがきセット

下新町の佐藤茂直さん(齒科医院)から、ことしも町内の新入生全員にハミガキセットが贈られました。「虫歯の多い子が増えていき、歯は健康のもとでもあります。虫歯を予防してください」という佐藤さんの願いによるものです。このプレゼントは、ことしで四年もつづけられ、学校では入学式に新入生全員に届け、佐藤さんの善意をお伝えしました。うれしいプレゼントに、父兄のみならず感謝されていきます。

拾得金を寄付

剛くんと片岡さん(湯口内の辻剛くん)は、拾得謝辞芳男氏長男)は、拾得謝辞

大学一年生に奨学金
申込 5月10日まで

ことし大学一年になった方に奨学金を給付します。財団法人秋田県北秋会では、ことし大学に入学した方で、経済的困窮者に対し奨学金を給付することとし、希望者をつのつていきます。奨学金は月額五千元で返済は不要です。対象となるのは、阿仁町に籍を有する人で、四年制大学に入学し、一年生であること。希望者は、五月十日まで役場総務課まで申込みください。

町一番の長寿 佐藤タヨ子さん永眠



町一番の長寿、荒瀬の佐藤タヨさんは、満九十

五歳の誕生日を前に、四月一日永眠しました。明治十二年四月二十四日生まれ、と云えばちやうど町の異人館が建てられた頃。以来、約一世紀近い歳月を過ごされたわけですが、老衰により、静かな生涯を閉じました。甘いものが大好物で、いつも口からアメを離さなかつたタヨさん、いつまでも安らかに。ご冥福をお祈りいたします。

金二百七十円を、役立ててくださると社会福祉協議会に寄付しました。

吉田の片岡ツマさんから拾得物の謝礼金五百円を、町の社会福祉協議会に贈られました。

係では、さつそくみなさんの善意が生かされるようにしてまいります。

老人ホームに保健飲料 吉田 仁吉郎氏

吉田の吉田仁吉郎さんよ

慶弔だより3月

◎ こんにちば・赤ちゃん

- お名前 保護者 住所
- 渡部 卓也(卓彦) 中村
- 松橋 正之(祐蔵) 比立内
- 山田 友美(昌蔵) 根子
- 福田 幸聖(弘丸男) 小椋
- 嘉成真由子(久雄) 吉田
- 武田 靖久(義信) 上新町
- ◎結婚おしあわせに
- 佐藤 静子 比立内
- 杉山 輝行 横浜市
- 奈良ミツ子 幸屋渡
- 渡辺 大美 東京都

香典返し二万円

小淵 菊地敏之氏

小淵の菊地敏之さんから亡父・龜治さんの香典返しとして金二万円が町の社会福祉協議会に贈られました

- 湊川 文也 比立内
- 山田 三枝子 秋田市
- 石川 一郎 横浜市
- 齊藤 君郷 下新町
- 菅原 益一 上新町
- 梅井 栄子 吉田
- 池田 栄一 千葉県
- 佐藤 節子 上新町
- 北林 作谷 米内沢
- 八田マツエ(79) 上新町
- 菊地 サメ(76) 小淵
- 越後 恵子(25) 畑町
- 鈴木サツ(84) 老人ホーム

死亡 おくやみ申します